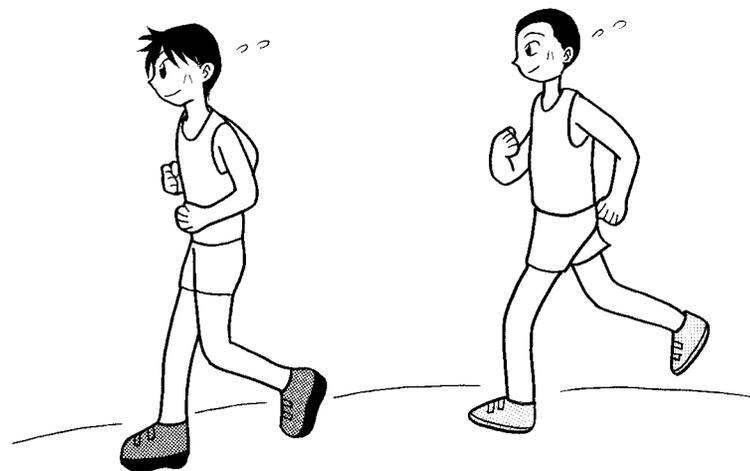


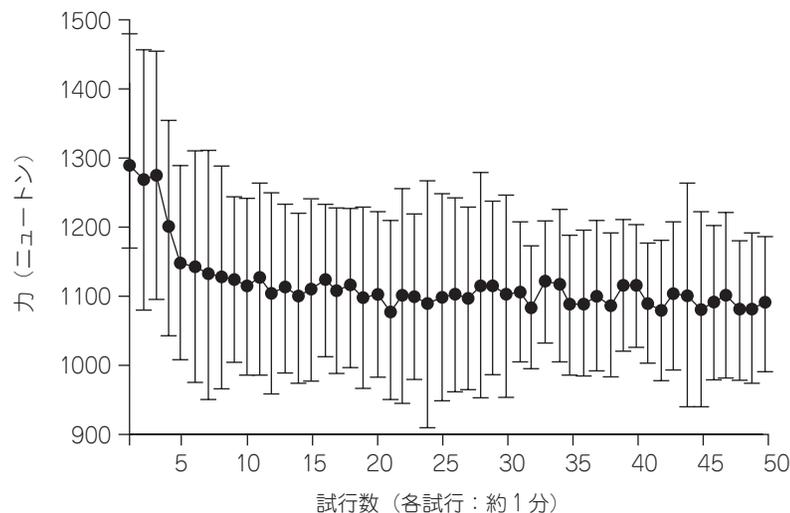
地面反力からみたランニングシューズの 緩衝機能差とその差への適応的变化について

研究代表者 大阪大学 木下 博

本研究はランニングシューズの機能的特性を評価するための方法論的問題点を明らかにすることです。そのために、中距離ランナー（12名）を対象に緩衝特性の異なる2種類のシューズを着用し、圧力盤上を走行させる実験を実施しました。その結果、柔らかい靴底の素材でのシューズの方が走りが不安定になる傾向は見られませんでした。これは一般的な感覚と異なるものでした。また、測定日が異なることにより異なる結果が得られる可能性が示唆されました。さらに、この研究でもっとも興味ある点は、シューズの緩衝特性（柔らかいか硬いか）に見られる差は被験者がそのシューズを着用した直後に顕著に見られますが、走者は時間とともに走り方を調節することにより緩衝特性の差が見られなくなることでした。この様な研究結果はシューズの緩衝特性をチェックするときに考えておかなければならない重要なポイントです。



靴底の緩衝特性は、走り方を調整するため時間と共に差が見られなくなる



柔らかい底材から硬い底材に変えたときの着地衝撃力の試行ごとの変化